

岸和田市墓苑における公民連携による運営管理等に関する
サウンディング型市場調査について

令和6年9月3日

1. 調査の経緯

現在、岸和田市が管理する市営墓苑は、昭和 26 年に開設し、第2墓苑を合わせて約 27ha の規模を有しており、年間約 34 万人が来園する墓地公園として多くの市民に親しまれています。

しかし、経年による施設の老朽化や、少子高齢化などの社会情勢等の変化により返還墓地が年々増加するなど、市営墓苑における安全、安心な管理運営に様々な問題が生じています。

こうした各種課題に対応するため、効率的な墓地の維持管理や施設の更新、各種申請に係る事務手続きに加え、墓地利用者の利便性向上を図るため、民間事業者のノウハウやアイデアを活かした市営墓地の運営のあり方について検討するため、公民連携事業に関心がある民間事業者のアイデアを広く募集し、今後の管理運営のあり方に反映するためサウンディング型市場調査を令和6年4月22日から令和6年8月2日まで実施しました。

2. サウンディング型市場調査への参加団体

事前説明会参加：2団体 ヒアリング参加：1団体

3. サウンディング型市場調査の結果概要

民間事業者の視点から、岸和田市墓苑の運営管理について、様々なアイデアやご提案や市への要望をいただきました。主なご提案等の内容は、次の通りとなります。

- ・指定管理制度による園内清掃、施設管理、各種受付業務などを想定している。
- ・懸念材料として、現地を視察したところ安全柵等の劣化箇所があり、改善してもらいたい。
- ・各種受付業務など、市職員との作業区分を仕様書により明確にしてもらいたい。
- ・印象として樹木が多く繁茂しており、場所によっては山林を管理するような状態となるため、事業対象範囲を地図等で明確にして頂くとともに、できれば落合城跡は事業対象から外して頂きたい。
- ・修繕費予算が余った分は次年度に繰り越すことができるなど配慮願いたい。
- ・光熱費は、精算制として頂きたい。
- ・廃棄物処理が事業者の業務となる場合、ゴミの搬出量や不法投棄の負担区分を示して頂きたい。

など

4. 今後の進め方

本サウンディング参加者からの提案や要望等をもとに、岸和田市墓苑における公民連携による運営管理について引き続き検討を行い、墓苑利用者の利便性向上に向けた取組みを検討していきます。